

国賊的主流メディアは、選挙盗みと犯罪的隠ぺいの完全な 共謀者

あらゆる企業メディア共謀犯を、即刻、閉鎖あるいは接收せよ

SOTN (Gretchen 訳による)

January 3, 2021



もし、この 2020 米選大統領選挙盗みの狂気の犯罪の、超犯罪者がいるとしたら、それは現にいるのだが、それは恒常的な言葉の詐術師、主流メディアである。

今起こっている犯罪の潮流を通じて積み上げられた、決定的な固い証拠が、明らかに証明していることは、あらゆる大きなメディア企業が、この「千年紀の選挙強盗」の無数の民主党犯罪者を、大きく援助したことである。

これらメディア企業の共犯者たちが、現実の選挙盗みに共謀しただけでなく、彼らは、巨大で前例のない、信じられないほどの鉄面皮な隠ぺいの背後にいる、第一協力者である。

もしそれがなかったなら、投票詐欺師や選挙泥棒たちは、これほどの極端なスチールを、決して行うことはできなかつただろう。

アメリカの民衆は、歴史上、これほどの怪物的な隠ぺいを、リアルタイムで目撃したことはないが、にもかかわらず、それは今も継続しており、もし「愛国者運動」が、これらの転覆的なメディアを終わらせる、必要な行動を取らなければ、それは今世紀中でも続くであろう。

「注意すべきは、CIA が、カラー革命（政権転覆）を執行する前に、常に行うことは、メディアを奪うことである。彼らはこれを、何か月も何年もかけて密かに行うか、あるいは、彼らのクーデタを、反乱者を使って、決定的な状況に導くボタンを押す前に、地方のラジオ放送局を爆破する。CIA は、メディアが、タヴィストック（洗脳研究所）によって書かれた「民主主義」の原稿を、ずっと放送し続けていなければ、人々を支配できないことを知っている。もちろんアメリカでは、メディアは何十年も昔に接收されている。今、それを取り戻すべき時である。これらの企業的クーデタ計画者が、大声でウソを叫び、アメリカ市民を首尾よく騙すことができる間は、騙されやすいリベラルたちは、常に、巨大な障害物を築いて、国家の主権を維持している。したがって共和国の崩壊は、メディアが急速に接收されない限り、ほとんど安全が保障されている。」

——情報アナリスト & 前米軍オフィサー

ここにあげた情報局の報告は、あらゆる愛国者に自明であるはずである。実際、トランプ大統領が繰り返し主張するように、「**メディアは人民の敵である**」。

実際のところ、もし主流メディアが、ジョン・F・ケネディ大統領の暗殺と隠ぺいに、深く共謀していなかったならば、彼の本当の、CIA と結んだ暗殺者たちは、とうの昔に逮捕され、死刑になっていたであろう。

もし主流メディアが、オクラホマ市ビルの爆発を密かに知り、隠ぺいに協力していなかったなら、身代わりになった Timothy McVeig は、今日も生きており、FBI/ATF の犯罪者たちは、終身刑になっていたであろう。

そしてもちろん、もし主流メディアが、アメリカの援助した 9・11 ニセ旗テロ攻撃に、直接的に関与し、継続して隠ぺいしなかったなら、「テロへの戦い」は決して始まることもなく、「愛国者法」は通過せず、諜報機関めいた米国家安全保障省は、設立されなかったであろう。この人道に対する露骨な犯罪は、おそらくアメリカ史における、最大の企業メディア犯罪である——もちろん最大の「**ペテン・パンデミック**」を除けば。

何が肝心のポイントか？



主流メディアは人民の敵

そして、アメリカの民衆が、このアメリカの現実的な事実を本当に把握しない限りは、何一つ良い方へ向かうことなく、事態は悪くなるだけで、ますます悪化するだろう。

悪辣な主流メディアが、毎日のように火を放ち、オイルタンカーの燃料をそれに投ずるようなことをしているときに、どんな国内の安定や、平和や、安全保障があるだろうか？

9・11以来、この国は、一つにつくられた大火から次の大火へと、犠牲になってきた——あたかもそれが正常なことであるかのように。実は、あらゆるニセ旗大量乱射がヤラセだった。あらゆるニセ旗爆弾が、米情報局共同体によって実行され監視され、主流メディアによって報道された。そして、あらゆるインフルエンザのような生物兵器は、同じ悪辣な役者どもによって公開され、ご存知の者たちによって隠ぺいされた。

ここで肝心の点は、主流メディアが問題であり、「**大スチール選挙**」が我々に示したように扱うべき、きわめて深刻な問題なのである。

実に、もし大メディア企業の隠れた所有者が、選挙を**白昼堂々**とスチールするつもりがあるなら、彼らは何を躊躇するだろうか！？

職業的な犯罪者にして大統領候補のペテン師、ジョー・バイデンを、不法にもホワイトハウスに迎えたあと、彼らが企まないどんな計略があるだろうか？

主流メディアの全体が、徹底的に悪に染まっているので、彼らに対する希望は全くな。我々は、あらゆる大手のニュース社のすべてを、CIA が所有しかつ動かしているために、それらは数十年もかかって、強烈な悪に取り込まれていることを知っている。

それが、すべての大きなメディア機関が、高度に統制されている理由であり、彼らは CIA の「モッキングバード・メディア」として、一様に指令を受けている。

銀行屋たち

皆さんには、我々が、これらアメリカ合衆国と一緒に推し進めていくのに、非常に深刻な問題を抱えていることを、知っていただきたい。

主流メディアは常に、最も感情的に充電された重大な問題を、でっちあげるのに利用され、彼らはそれらを、アメリカの政治の心臓部に深く打ち込む。この古典的な「混沌から秩序を」Ordo ab Chao という戦略は、少なくとも 1913 年の「連邦準備法」以来、続いている。

ご存知のように、この銀行屋どもは、中央銀行カルテルと、国際銀行犯罪シンジケートの両方の、隠れた所有者のために働いている。そのような者として、彼らは、あらゆる公的に取引されたメディア企業を、完全にコントロールしている。彼らはまた、ビッグ・ファーマ、ビッグ・テック、ビッグ・アグラ（大農産物業）、ビッグ・オイルなども支配している。

そのキーポイントは、無秩序、混乱、紛糾などの、種をまく彼らの主たる道具は、主流メディアだということである。そして、彼らは、今言った諸々の産業からの莫大な歳入を、すべての情報攪乱プログラムの資金援助ために使っている。「時の権力」は、これを故意に、無際限に行っていて、それは彼らの狙った国家、州、都市、社会、人種、ジェンダー、宗教、文化といったものを、分割して征服（統治）するためである。

そうすることによって、彼らは 99 パーセントの我々すべてを、永久に、我々同士が戦うようにさせ、完全に我々全体をコントロールし、操作している、1 パーセントの存在に気づかせないようにしている。

それがゲームの全体、まさにその通り！

あなた自身の銀行屋どものつくった戦争ゾーンの中で、あなたが目撃したり経験したりしているのは、権力エリートによって故意に工作された、絶えることのない戦闘である。彼らは我々の強姦や、略奪や強奪を、我々の目からそらすために、それを行っている。

スメリー・バトラー少将の本のタイトルで言っていることは、完全に真実である：——
「戦争とは馬鹿騒ぎである」。しかし、その馬鹿騒ぎが恐ろしく成功するのは、メディアが戦争を始めるのに使われ、次に、それを大いに焚き付けるからに過ぎない。最後に彼らは、戦争の本当の恐怖を隠ぺいするが、それは次の戦争が、資源や土地や戦略的な場所をめぐる、戦われるようにするためである。

それだけでなく、この素晴らしい戦争の記録は、「すべての戦争は銀行屋の戦争である」ことを示している。<https://topdocumentaryfilms.com/all-wars-are-bankers-wars/> ここでも銀行屋は、すべての大きなニュース局を動員して、プロパガンダや間違った情報を大量に吐き出すことが要求される。そのようにして彼らは、国と国、民族と民族を争わせる。

キーポイント：この選挙スチールの深さと範囲は、あまりにも驚嘆すべきもので、全世界が見つめる中で、それをやってのけるためには、驚くべき額の資金援助が必要だった。つまり、銀行屋の汚いカネが、ジョージ・ソロスなどを通じて流れる必要があった。これこそメディアが、陰謀団の計略が成功する可能性の、中心にあった理由である。すべての報道ネットワークのトップ記者や、トーク・ヘッドたちは、いろんな一流新聞のピューリッツァー賞記者も含めて、投票詐欺とか、不正投票用紙とか、選挙サイバー犯罪といった言葉さえ避けるために、高額の手当てを支払われている。しかし、それよりもっと重要なことは、これら主流メディアの言説の名手たちは、あらゆる選挙犯罪行為を、右翼の陰謀とか、根拠のない主張とか、証明されていない説などとして、言い換える技量が要求されている。主流メディアは、選挙の日からずっと、この馬鹿ばかしい芝居をやり続けており、彼らは岩と難所の間に挟まっているために、これを後4年間もやめることができないのである。

——以上